

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、7月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「情報専門学科カリキュラム標準 J07」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ちょうど勤め先でカリキュラム改訂を検討している時期であったため、とても参考になりました。情報というものが広く社会へ浸透し、教授すべき内容が増えていく反面、情報系志望者は減る一方です。魅力あるカリキュラム作りについて考える良い機会となりました。
(匿名希望)

■記事としては少々細かすぎないように感じました。会誌の記事としては、もう少し的を絞ったものにした方が読みやすかったと思います。
(匿名希望)

■今後必要とされている知識項目のうち自分はどの程度をこれまで習ってきていて、何が足りないのかという点に興味を持って読んだ。たとえば、開発マネジメントに関することは、自分の所属研究室 OB の就職先の傾向からいっても必要だと思うけれども、大学において教わった記憶はない。では、必要なことを網羅できずに学部生の時期を終えてしまった院生や社会人は、どうやってその不足を補ったらいいのだろうか？
(匿名希望)

■自分が関係していることもあり、「一般情報処理教育」に興味深く読みました。できればさらに深く、紹介してほしいと思いました。いわゆる文系の学生は、PC よりも携帯電話を使う傾向があります。PC によるプログラム作成などには、ほとんど必要性を感じなくなってきているように見受けられ、単なる形式的な講座設置になりかねないと感じます。また、何を身につけているか、学生が目標を達成しているかを適切に計測するのはなかなか困難で手間もかかります。カリキュラム標準では、現場でのどのような作業を具体的に想定しているのかを知りたいと思いました。
(匿名希望)

解説「実装攻撃に対抗する耐タンパー技術の動向」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■興味深く拝読した。IC チップに対する攻撃の例がいくつか紹介されていたが、チップのセキュリティがいかにか脆弱なものであるかを再認識させられた。一方で、このような攻撃への対策技術の開発も進んでいるとのことであり、今後の動向に注目したい。
(匿名希望)

■学生の頃、アーケードゲーム基板がジャンクとして入手できる環境でした。一部 IC のパッケージは、型番が分からないようにヤスリで削られていました。現在でも、そのような方法が（ある程度）有効とあり、不思議な感じでした。
(匿名希望)

解説「ドイツ人工知能研究センター（DFKI）の 20 年 成功への道筋とそれを可能とした人々」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■非常に興味深く読んだ。そもそも、行政が科学に対して非常に協力的である点は羨ましいと思わざるを得ない。また、有望、有能な人材の流動性、情報をオープンにする構造、しっかりとした成果の評価機構などに大きな感銘を受けた。日本でここまでの施設を立ち上げ、運営するためには、行政も、研究組織も、それぞれの中にいる人材にも、かなりの洗練と意識の変化が必要であるように考えられる。
(匿名希望)

報告「小中学生対象のロボット競技世界大会レポート～FLL Open Asian Championship 2008～」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■面白かった。自分たちで目標に向かって考え、自ら手を動かし、その成果をアピールし、他人と交流を持つという、ある意味教育におけるほぼすべてのエッセンスが含まれた、とても魅力的なイベントであるとの印象を持った。
(匿名希望)

■小学生の息子が興味を持って読んでいた。ゲーム理論等、難しい文章ながらも内容を楽しんでいるようなので、ぜひ続けてほしい（私自身も楽しみにしている）。
(匿名希望)

道しるべ「計算の視点から音楽の構造を眺めてみると『計算論的音楽理論について』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■せつかくの連載なので、音楽の視点から計算の構造を眺める企画を期待します。
(水野光朗)

■音楽は聞くばかりだが、情報伝達に「音」は欠かせない要素である。にもかかわらず、理論付けたものを知らなかったのが、たいへん参考になりそうだ。連載されるようなので、期待したい。(匿名希望)

■音楽の問題に言語解析手法を応用している点が興味深いです。音楽ではどの程度有効でしょうか。また、他分野ではどの程度有効でしょうか。今後の連載が楽しみです。(匿名希望)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■小特集「ソフトウェア工学温故知新」について：どの記事もそれぞれ特徴があり、参考になった。他の分野でも、このような企画があってよいのではと思う。(匿名希望)

■報告「平成19年度論文賞の受賞論文紹介」について：大学を出てしまうと、よい取り組みをしている若手の研究者がどのような動機、どのような観点から問題解決に取り組んでいるかを端的に知る機会が少なくなるように思います。すべての分野を横断的に注意しつづけること

は時間的な制約からも困難です。自分の興味の観点が時とともに固執してしまっていることに気づかされ、柔軟に関心を持つことへの見直しのきっかけになりそうです。製造業の現場において開発に携わっている立場としては、よい読み物でした。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■国際標準化活動をする人材の育成について取り上げてほしい。(匿名希望)

■自然言語処理に関する先端的な研究の特集を希望します。(匿名希望)

■毎回なのですが、どうしても自分の研究分野、あるいは過去に研究していた分野に興味を持ちます。私自身は情報処理教育、特に裾野を広げてユビキタス時代に向けて老若男女を問わず国民全体がその恩恵に浴することができるような視点での教育計画に興味を持っています。(匿名希望)

【本欄担当 佐藤浩史、林 雄介／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2008年				
	会誌「情報処理」50巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu.html	11月4日(火)		
	平成20年度フェロー候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/fellow/H20/suisen_yoryo.html	11月4日(火)		
	論文誌「情報教育～理論・評価・展望～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/09-H.html	11月26日(水)		
	論文誌「社会を活性化化するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/09-F.html	12月1日(月)		
10月15日(水)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第4回 実世界とインターネット http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
10月15日(水)	第117回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HPC117.html	8月29日(金)	当日のみ	汐留シティセンター (富士通本社)6階
10月18日(土)	第80回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CH80.html	8月23日(土)	当日のみ	たざわこ芸術村 (秋田県仙北市)
10月19日(日)～ 10月21日(火)	第172回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ARC172.html	9月19日(金)	当日のみ	二日市温泉大観荘
10月24日(金)	北陸支部主催研究講演会「高精度な信号解析法とその応用」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html		参加無料、会員 以外の方も参加可 当日のみ	金沢大学自然科学系 図書館棟大会議室
10月24日(金)	第73回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SLP73.html		当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
10月24日(金)	平成20年度関西支部 支部大会 http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/index.html	8月31日(日)	10月15日(水)	京都リサーチパーク (KRP)
10月25日(土)	平成20年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.eng.tottori-u.ac.jp/	8月8日(金)		鳥取大学 鳥取キャンパス
10月25日(土)	第96回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE96.html	9月25日(木)	当日のみ	日本文理大学湯布院 研修所(大分県由布市)
10月27日(月)	東海支部主催講演会「アーキテクチャ記述言語ADLの流れを 車載組み込み現場目線で追う」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加無料	東桜会館1階第2会議 室(名古屋市)
10月28日(火)～ 10月29日(水)	第71回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO71.html	8月28日(木)	当日のみ	松江テルサ
10月29日(水)～ 10月31日(金)	第153回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ICS153.html	8月1日(金)	当日のみ	天津プリンスホテル (滋賀県)
10月29日(水)～ 10月31日(金)	組込みシステムシンポジウム (ESS2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-ESS2008.html	9月5日(金)	早期割引は10月17日 (金)24:00まで	国立オリンピック記念 青少年総合センター
11月6日(木)	第92回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/FI92.html	9月8日(月)	当日のみ	筑波大学 東京キャンパス
11月6日(木)～ 11月7日(金)	グループウェアとネットワークサービスマークシヨップ2008 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GNWS2008.html	8月22日(金)	当日可	勝浦ホテル三日月
11月6日(木)～ 11月7日(金)	第130回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HCI130.htm	9月5日(金)	当日のみ	東京(秋葉原ダイビル を予定)
11月6日(木)～ 11月7日(金)	第47回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第35回高度交通システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MBL47ITS35.html	9月12日(金)	当日のみ	高知工科大学
11月7日(金)	第120回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AL120.html	9月5日(金)	当日のみ	大阪大学
11月7日(金)～ 11月8日(土)	第133回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG133.html	8月29日(金)	当日のみ	九州工業大学 情報工学部
11月7日(金)～ 11月9日(日)	第13回ゲームプログラミングワークショップ2008 (GPW2008) http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/gpw/2008/	7月28日(月)	定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月12日(水)～ 11月13日(木)	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ComSys2008.html	7月16日(水)		キャンパス・イノベー ションセンター東京
11月12日(水)～ 11月13日(木)	第20回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/UBI20.html	9月12日(金)	当日のみ	臨床研究情報センター
11月14日(金)	ウェアラブルコンピューティングシンポジウム2008 http://ubi.eedept.kobe-u.ac.jp/wearable/		11月10日(月)	ホテルオークラ神戸
11月17日(月)～ 11月19日(水)	第137回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SLDM137.html	9月11日(木)	当日のみ	北九州学術研究都市
11月18日(火)	東海支部主催講演会「知識の動的再構成を支援するシステムに ついて」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加無料	名古屋大学
11月19日(水)	第162回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SE162.html	9月26日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
11月25日(火)～ 11月27日(木)	IWSEC2008 International Workshop on Security http://www.iwsec.org/			かがわ国際会議場
11月26日(水)～ 11月27日(木)	第188回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL188.html	10月10日(金)	当日のみ	九州大学 伊都キャンパス
11月27日(木)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第5回 インターネットオペレーション http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
11月27日(木)～ 11月28日(金)	第69回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DD69.html		当日のみ	琉球大学
11月27日(木)～ 11月28日(金)	第165回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CVIM165.html	8月25日(月)	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
11月27日(木)～ 11月28日(金)	第10回組込みシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EMB10.html	8月29日(金)	当日のみ	キャンパスプラザ京都
11月27日(木)～ 11月28日(金)	第137回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DPS137.html	9月19日(金)	当日のみ	東邦大学 習志野キャンパス
11月29日(土)～ 11月30日(日)	第42回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EIP42.html	10月3日(金)	当日のみ	同志社大学今出川校 地室町キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
12月1日(月)	東海支部主催講演会「テキストマイニング技術～最新動向と研究事例紹介～」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料	東桜会館1階第2会議室(名古屋市)
12月1日(月)	第27回システム評価研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EVA27.html	9月30日(火)	当日のみ	長崎大学(長崎市文教町)
12月1日(月)～12月2日(火)	Webとデータベースに関するフォーラム(WebDB Forum) 2008 http://db-event.jpn.org/webdbf2008/	9月26日(金)		学習院大学 創立百周年記念会館
12月4日(木)～12月5日(金)	インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOTS2008.html	9月15日(月)		京都市国際交流会館
12月9日(火)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第6回 インターネットとコンテンツ流通 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
12月10日(水)～12月11日(木)	シンポジウム「日本の技術革新」 http://sts.kahaku.go.jp/tokutei/symposium_08.php		定員になり次第 事前申込み	国立科学博物館 上野本館 講堂・大会議室
12月10日(水)～12月12日(金)	第16回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ http://www.dpsws.org/2008/WS/	8月29日(金)		山口県萩市 萩本陣
12月11日(木)～12月12日(金)	第63回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AVM63.html	10月10日(金)	当日のみ	[メイン会場]名古屋大学 [サブ会場]北海道大学
12月17日(水)～12月18日(木)	第15回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/BIO15.html	10月17日(金)	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
12月19日(金)～12月20日(土)	第78回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS78.html	10月15日(水)	当日のみ	龍谷大学 瀬田キャンパス
12月20日(土)	第97回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE97.html	10月31日(金)	当日のみ	金城学院大学
12月20日(土)～12月21日(日)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2008」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-CH2008.html	9月9日(火)	定員になり次第	筑波大学
2009年				
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-K.html	1月下旬		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/	2月28日(土)		
1月13日(火)～1月15日(木)	第50回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			箱根ホテル小涌園
1月19日(月)～1月22日(木)	Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC2009) http://www.aspdac.com/aspdac2009/			パシフィコ横浜
1月22日(木)～1月23日(金)	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム(HPCS2009) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-HPCS2009.html	9月26日(金)		東京大学武田ホール
1月27日(火)	ソフトウェアアジア2009 「ITのパラダイムシフト～クラウドで何がかわるか?～」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2009/		定員になり次第 400名	大手町サンケイプラザ
2月16日(月)～2月17日(火)	第134回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html			NHK放送技術研究所
3月5日(木)～3月6日(金)	インタラクション2009 http://www.interaction-ipsj.org/index.html	10月17日(金)	早期割引有り	学術総合センター / 一橋記念講堂
3月10日(火)～3月12日(木)	第71回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/index.html			立命館大学びわこ・くさつキャンパス
3月12日(木)～3月13日(金)	ネットワーク生態学研究グループ 第5回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/%7Eyhayashi/NetEcoG_top.html		定員になり次第	沖縄国際大学
3月23日(月)～3月25日(水)	The 9th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems http://www.ece.upatras.gr/isads2009/			Athens, Greece

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 9月16日 第50回プログラミング・シンポジウム論文募集
- 9月16日 人材募集情報(9月)更新しました
- 9月12日 情報専門学科カリキュラム標準「J07」とそれを取り巻く動き - ITスキル標準、情報処理技術者試験、JABEEとSeoul Accord -
- 9月12日 情報大航海プロジェクト:「無償で活用できる映像コンテンツ」、「プロファイルデータ」の紹介
- 8月21日 会誌「情報処理」50巻表紙デザイン募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■兵庫県立大学工学研究科電気系工学専攻

募集人員 准教授
所属 電子情報工学部門
専門分野 計算機言語、HDL等のソフトウェア分野
担当科目 <大学院>人工知能情報工学講義、人工知能情報工学セミナー、計算機言語、電気系工学特別実験D
<学部>プログラミング論I、システム設計言語、計算機実習II、卒業研究
応募資格 博士の学位を有し、上記専門分野の研究と教育に熱意と意欲があり、博士後期課程を担当できる方
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、研究業績の概要(2000字程度)、教育・研究への抱負、推薦状1通または意見を伺える方2名の氏名と連絡先
*書類の様式はWebページ(http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/info/guide/fs_accept.html)
応募締切 平成20年11月4日
照会先 E-mail:koubol11@eng.u-hyogo.ac.jp
教員選考委員長 教授 佐藤真一 Tel(079)267-4869 または、電子情報工学部門 教授 畑 豊 Tel(079)267-4986
その他 【選考方法】書類審査および面接

■名古屋工業大学大学院情報工学専攻/情報工学教育類

募集人員 助教 1名(任期5年:3年経過後に任期解除の審査有り)
専門分野 知的Web技術、マルチエージェント、知識システム、人工知能等
担当科目 情報工学科知能系の実験演習科目、卒業研究指導補助、大学院研究指導補助、第二部電気情報工学科実験演習科目および全学共通の実験演習科目
応募資格 博士の学位を有する方または取得見込みの方。専門分野で、今後が期待できると判断できる研究実績がある方
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 履歴書、業績リスト(著書、総説解説、学術論文、国際会議論文、講演・口頭発表、特許、その他特記事項に分類し、査読の有無を記載すること)、代表的な論文の別刷(3編、コピー可)、科研費等の外部資金獲得実績、主たる研究概要と今後の抱負(2000字程度)、教育に対する抱負(1000字程度)、所見を伺える2名の方の氏名・現職・連絡先・応募者との関係
応募締切 平成20年11月5日(必着)
送付先/照会先 〒466-8555 愛知県名古屋市中区御器所町 名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻(つくり領域)
教授 新谷虎松 E-mail:tora@nitech.ac.jp Tel(052)735-5471 Fax(052)735-5584
その他 応募の詳細はWebページ(<http://www.nitech.ac.jp/>)を参照

■(独)理化学研究所情報基盤センター

募集人員 技師 1名(定年制)
 募集職種 スーパーコンピュータの運用管理, 高度化, 計算機科学/計算科学の研究開発の支援等
 専門分野 計算機科学/計算科学
 応募資格 計算機科学/計算科学の博士号取得者(見込みも含む)または同等以上の研究経歴を有する方
 着任時期 平成21年4月1日以降
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 推薦書2通(理事長宛), 抱負
 応募締切 平成20年11月20日(必着)
 送付先/照会先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 独立行政法人理化学研究所 情報基盤センター 鈴木富男
 「技師応募書類在中」と朱書き簡易書留 E-mail:suzuki@riken.jp Tel(048)467-9396
 *応募書類は返却しないことをご了承ください
 その他 詳細はWebページ(<http://www.riken.jp/>)から採用情報参照のこと

■名古屋大学大学院情報科学研究科複雑系科学専攻

募集人員 教授(業績・経験を考慮して准教授としての採用もある) 1名
 所属 多自由度システム情報論講座
 専門分野 複雑系の科学. 広い意味での数理物理・統計物理・計算科学のアプローチにより, 複雑系科学の新分野を開拓していただける方
 担当科目 情報科学研究科複雑系科学専攻, 情報文化学部, 全学教育の授業, および学生の指導
 応募資格 博士の学位を有し, 自然・社会におけるさまざまな複雑系の現象に対して, 広い視野から数理的手法で研究・教育が行える方
 着任時期 平成21年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書, 業績リスト(a.著書, b.査読付き原著論文, c.その他の論文, 総説, 解説等, d.招待講演(国内外を問わない), e.競争的外部資金獲得, f.特記すべき事項, に分ける), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), これまでの代表的な研究の概要(A4用紙2枚, 図表を含んでも良い), 今後の研究計画(A4用紙2枚, 目的とする研究に関して複雑系科学としての重要性・同分野の発展に果たす役割などの研究意義を分かりやすく書くこと), 教育に関する抱負(A4用紙1枚), 照会が可能な2名の方の所属・連絡先(E-mail, 電話等)
 応募締切 平成20年11月28日(必着)
 送付先/照会先 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町A4-2(780) 名古屋大学大学院情報科学研究科 複雑系科学専攻長 森 敏彦
 E-mail:mori@is.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-4803 「教員公募関係」と朱書き郵便の場合は書留
 その他 提出書類は本選考にのみ使用し, 他の目的には使用しません
 選考の過程で講演をお願いすることがあります
 研究科の詳細はWebページ(<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>)をご覧ください
 本学では採用に際して男女共同参画に配慮しております

■高知工科大学

募集人員 教授または准教授または講師 1名
 所属 情報学群(平成23年度までは情報システム工学教室にも属する)
 専門分野 下記いずれか1分野
 (1)組込システム(ソフトウェア, ネットワーク, ハードウェア)
 (2)人間情報処理(自律分散システム, 人工知能, 感性情報処理, 認知工学, 人間工学, 生体工学など)
 着任時期 平成21年4月あるいはそれ以降の適当な時期
 応募締切 平成20年12月1日
 照会先 情報システム工学科 学科長 岩田 誠 E-mail:iwata.makoto@kochi-tech.ac.jp Tel(0887)53-1020 Fax(0887)57-2220
 その他 応募資格, 任期, 提出書類等の詳細はWebページ(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/index.html)をご参照ください

■新潟大学教育研究院自然科学系

募集人員	准教授、講師もしくは助教 1名
職務内容	情報工学分野に関する教育および研究。特に、コンピュータエンジニアリング (CE)あるいはソフトウェアエンジニアリング (SE)分野。具体的には、組込みソフトウェア、コンピュータアーキテクチャ、リアルタイムOS、ソフトウェアメトリクス、ソフトウェア工学などにかかわる教育研究を高度化・活性化する研究プロジェクトに参画して、教育研究を推進できること。また、大学院と学部の教育に情熱をもって取り組むこと
担当学部・研究科	大学院自然科学研究科担当、工学部担当
担当科目	学部：情報工学科の専門科目 (予定) 大学院：情報工学専攻 (博士後期課程)、数理・情報電子工学専攻 (博士前期課程)の専門科目 (助教の場合はその補助) (予定)
応募資格	博士の学位を有すること、情報工学の分野に関する教育・研究実績を有すること
着任時期	平成21年4月1日 (予定)
提出書類	各1部:履歴書、著書、学術論文 (学位論文、レフェリー付きの原著論文、総説に区分)およびその他論文 (レフェリーなしの原著論文、国際学会発表、招待講演など)のリスト (なお、論文名、著者名、雑誌名、巻、最初と最後のページ、発表年 (西暦)について記載のこと)、主要論文別刷 (10編、コピー可)、これまでの教育研究概要と採用された場合の教育および研究の抱負について2000字程度にまとめたもの、外部資金獲得状況 (過去5年程度)、応募者について意見を聞くことのできる方2名の氏名と連絡先
応募締切	平成20年12月1日 (必着)
送付先	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学工学部情報工学科 教員選考委員会委員長 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
照会先	工学部情報工学科 学科長 間瀬憲一 E-mail:mase@ie.niigata-u.ac.jp Tel/Fax(025)262-7446
その他	応募書類は選考以外の目的に使用しません 【給与】国立大学法人新潟大学職員給与規程による 【面接】必要に応じ面接を行う場合があります。ただし、その際の旅費等は自己負担となります

■公立大学法人秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工学科

募集人員	助教 1名
所属	経営システム工学講座
専門分野	情報処理関連分野：情報処理、データ分析、あるいは情報システム構築等に関連する分野の教育研究を、学術的に高いレベルで遂行できる方を求めます
担当科目	学部：経営情報システム演習 (分担)、経営システム工学実験 (分担)、コンピュータリテラシー (分担)など (予定)
応募資格	博士の学位を有するか、または取得見込みであること、当該分野の教育と研究に熱意をもち地域貢献にも意欲のある方、国籍は問わないが日本語の堪能な方、採用が決定した場合確実に着任できる方
着任時期	平成21年4月1日 (予定)
提出書類	履歴書 [*] 、研究業績リスト [*] 、主要論文 (3編、コピー可)、これまでの研究および教育ないしは社会活動の概要 (1000字程度)、教育に対する抱負 (1000字程度)、研究・地域貢献に対する抱負 (1000字程度)、応募者について2名以上からの意見書 (厳封のこと)、研究費等外部資金獲得の実績がある方については過去5年間における獲得状況のリスト ※履歴書および業績リストの記載要領等については、Webページ (http://www.akita-pu.ac.jp/)をご参照ください
応募締切	平成20年12月10日 (必着)
送付先	〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 秋田県立大学 システム科学技術学部長 小林 淳 「経営システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照会先	経営システム工学科長 三品 勉 E-mail:mishina@akita-pu.ac.jp Tel(0184)27-2172 (ダイヤルイン)
その他	【勤務条件等】勤務：公立大学法人職員 (非公務員)として採用 給与：職位・業績・職務内容に応じた年俸制 就労：裁量労働制を適用 任期：5年の任期付き採用 (助教としての再任は1回のみで、最長10年です) 【選考方法】第一次選考：提出書類審査、面接 第二次選考：プレゼンテーション・役員による面接 面接の旅費等は自己負担となります 現在の学科構成や活動内容の詳細はWebページ (http://www.akita-pu.ac.jp/)をご覧ください

会誌「情報処理」50巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。
 - ・A4判（天地297mm×左右210mm）4色フルカラー。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

- 注意事項
- ・応募作品は返却いたしません。
 - ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
 - ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成20年11月4日（火）（必着）
結果通知 平成20年12月下旬
賞金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入る!



申込／照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel.(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



創立50周年記念論文の公募について

情報処理学会では創立50周年を記念して、「記念論文」を公募することになりました。会員のみならずには、奮って応募されますようお願いいたします。

1. 応募資格-----情報処理学会の会員（正会員、学生会員、海外会員）。共著の場合、著者のうち最低1名が会員であること。
2. 論文の性格と書き方-----情報処理の分野に関する邦文または英文の原著論文で、12ページを目安とするが、最長20ページまで可とする。
原稿の書き方は、「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内または Journal of Information Processing : Information for Authors による。
3. 応募締切りと取り扱い---ア. 公募締切りは平成22年2月1日とする。イ. 選定結果は「創立50周年記念式典」において公表する。
4. その他-----より詳細な事項については追って本誌で公告する。

おひらき

私は会誌の編集という業務のほかに、コンピュータ博物館に関する業務も担当しています。

「コンピュータ博物館」は、日本のコンピュータの歴史とそれにかかわったパイオニアが紹介されている Web サイトです。

この博物館は、実行委員会の委員の方がカテゴリごとに年表を起こし、そのコンピュータが掲載にふさわしいかの審査と議論をし、そして展示する写真の収集、解説文作成……というプロセスで制作されています。年々写真や解説文の数が増え作業量も膨大となり、委員の方もかなり大変だと思いましたが、現在も休むことなく改訂が行われています。

事務局はその委員会のお手伝いをしているのですが、私自身、この委員会で初めて経験することや知ることが多く、いまだ勉強の日々です。思えば色々笑えない失敗もしてしまったのですが、その際にも委員の皆様にはずいぶんとあたたかく接していただきました。

今ではかなり大きな規模のサイトとなり、テレビや雑誌で写真や解説文を使用させてほしいという依頼も増えています。皆様が普段ご覧になっているテレビや雑誌でそのクレジットを見かける

こともあるかもしれません。「コンピュータについて調べていたらこのサイトを見つけたのですが」という問合せも多くあり、専門の方だけでなく、一般の方が日本の技術の歴史を知るきっかけにもなっているのかなと思います。

それと、コンピュータ博物館は学会サイトで初めてCMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入しています。このCMS、サイトマップが自動的に生成できるなど、便利なシステムらしいのですが、導入した当初はまったく勝手が分からず（今もそれほど分かっていないのですが……）写真1つ差し替えるのにも四苦八苦しました。早く使いこなせるようになるといいのですが……。

博物館はつい先日英語版（改訂版）も公開しました。まだ見たことがないという方はこの機会にぜひご覧ください。さまざまなコンピュータを閲覧でき、専門の方には懐かしく知らない方には新たな発見のある、充実したサイトになっていると思います。

[コンピュータ博物館] <http://museum.ipsj.or.jp/>

(綿谷亜樹/会誌編集部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【11月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4910.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌およびWeb)に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号 (2008年10月号)の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 特集：オープンリサーチ型次世代ネットワーク技術への挑戦
1. 巻頭言 JGN：10年間の総括と飛躍への基盤整備 10-1-
 2. JGN2 研究開発活動の概要と総括 10-2-
 3. 利用推進と地域活性化 10-3-
 4. 先端グローバルR&D 網の構築と国際協調アプリケーションの展開 10-4-
 5. 地域間広帯域映像中継と地域連携の実際 研究開発における実証実験・地域貢献の一体化 10-5-
 6. インターネット技術を用いたセンサ情報共有ネットワークの展開 10-6-
 7. Death Valley の克服に向けた相互接続性確立のための研究開発 10-7-
 8. サラウンディング・コンピューティング 10-8-
 9. 新世代ネットワークの実現に向けて 10-9-
 10. 研究開発用テストベッドネットワーク JGN2plus の現状 10-10-
 - 高精度時刻サーバの開発 10-11-
 - プログラムオフィサー制度の現状 10-12-
 - わが支部の魅力はここにあり：北海道支部：最近の北海道情報処理シンポジウムの話題から 10-13-
 - 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると：音楽理論 GTTM の定式化と実装の試み 10-14-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
 12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

今回の特集「オープンリサーチ型次世代ネットワーク技術への挑戦—National Project JGN2 4年間のFact Sheets—」は、4年間にわたって、政府主導で行われてきた巨大プロジェクトの成果について、現場の担当者の方々に執筆を依頼し、ご寄稿いただきました。このプロジェクトは我が国の情報通信関係では、最大級の研究プロジェクトであると同時に、研究者がネットワークの運営に直接関与している世界唯一のものです。超高速のネットワークを敷設する場合、常に問題になるのは1つのアクセスポイントを維持するために年間何千万円という支出を必要とするが、研究費はもらえない、しかも引き受けたからには成果を求められるというジレンマに直面します。その点で今回の執筆者諸氏の情熱と努力は尋常ではありません。一見華やかに見える研究プロジェクトをご担当される研究者の方々でも、実際にはご自身の担当される博士課程の学生に、このネットワークでの実験を担当させることさえ憚られるというのが正直なところ。情報処理や情報通信の分野では、単に「超高速ネットワークでこういうことを可能にした、こういうデータが計測できた」という主張をするだけでは、もはや、論文誌に掲載されるべき研究論文としては、新規性の点で不十分と指摘される場合が多いからです。

合衆国の実験ネットワークであったvBNSなどのプロジェクト

トが、NSFの方針でネットワークの運用は通信キャリアに任せ、研究者は運用に関与させず、アプリケーションを提案するプロジェクトに資金を出すという方針をとった結果、ルータの開発は民間主導となってしまいました。さらにパークレーなどの学生たちの作成した無数のソフトウェアの集合体であるUNIXオペレーションシステムも、今世紀に入っても劇的なアーキテクチャの発展は見えていません。結果、一度もルータやスイッチに触れたことがない「モヤシのようなネットワーク研究者」が増え、シミュレーションと数理モデルだけでネットワークの論文を書くという傾向が強くなってきています。若い読者の皆様が、この一見能率の悪い巨大プロジェクトにかかわる研究者の記事から、少しでも「モノづくり日本復活」への「何か」を感じていただけたことを期待します。

また、この特集と関係する「高精度時刻サーバの開発」は、JGNの時代からJGN2にかけて、小規模に少しずつ研究を重ね、我が国のNTPを担当するまでになった苦労談でもあります。あわせてお読みいただくと幸いです。

末筆になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、執筆いただきました担当者諸氏にあらためて感謝の意を表するとともに、急逝された平原氏のご冥福を心からお祈りします。

(江崎 浩・中川晋一/本特集エディタ)

次号 (11月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」学と産の連携による基盤ソフトウェアの先進的開発

「学と産の連携による基盤ソフトウェアの先進的開発」の概観／e-Society 基盤ソフトウェアの総合開発プロジェクトの生い立ち／高信頼組込みシステムのための先進ソフトウェア技術／次世代高性能コンピュータシステム上の高信頼ソフトウェアシステムの開発支援技術／SML#: 最先端の機能と高い実用性を実現する次世代多相型プログラミング言語／VITC: 情報流解析による高安全Cコンパイラ／産官学連携によるエンピリカルソフトウェア工学の実践 データに基づく実証的アプローチ／双方向変換による高信頼構造化文書処理／高信頼 WebWare 生成技術: WebWare のテスト・解析・作成支援／100億規模のWeb ページ収集・分析への挑戦／ストレージフュージョン: ストレージシステムとデータベースの融合／Socio Sense: ウェブアーカイブから社会の動きを読む／人にやさしい音声インタフェース

「小特集」IPTVの現在と展望

IPTVの今(仮)／IPTVサービスの標準化動向とサービス実現へ向けた技術／IPTVの普及に向けた課題と可能性

解説

ASP・SaaSの動向と普及促進の状況(仮)(前編).....河合輝欣 他
高速UWB(Ultra Wide-Band)の最新技術動向.....野田正樹

道しるべ 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると

コラム わが支部の魅力はここにあり

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先: (中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel: (03)3475-5618 Fax: (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 49巻10号 掲載広告(五十音順)

- アムテックス…………… 表2 サイエンス社…………… 前付2,3
 インタフェース…………… 表4 情報通信研究機構…………… 前付最終上
 オーム社…………… 表2対向

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail:sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel. (03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
(株) NTT コムウェア

OKI

沖電気工業 (株)

impress

(株) インプレス IT



(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニュースウォッチ

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

楽R天

楽天 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375